

岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。

市

市役所庁舎内の提供

① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

国

職業紹介・職業相談の実施等



この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

(1) 実施体制

岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(6年度)

事業内容	事業目標(年度)	取組状況 (令和6年11月末時点)
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	利用者数 2,000名 支援対象者数 180名 就職者数 258名 就職率 36.7% (参考)前年度目標 ・利用者 2,000名 ・支援対象者数 180名 ・就職者 203名 ・就職率 36.7%	利用者数 869名 支援対象者数 94名 就職者数 156名 就職率 18.1% (参考)前年同月実績 ・利用者数 1,098名 ・支援対象者数 97名 ・就職者数 189名 ・就職率 42.3%

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

男性：50代 ・希望職種：運搬・倉庫内作業

① 求職者の課題

- ・内装業、業務中の怪我で離職。同職への復帰ができません。他職の経験が少ない。家賃滞納あり。通勤は徒歩。交通機関利用を嫌う。中学卒。

② 紹介の経過

- ・早期就職で生活保護脱却を希望。転居不可。自転車がなく交通機関利用を嫌うため求人選定に苦慮。経験職以外で何ができるのか本人自身がわからず、提供する求人を受け入れられなかった。運転は4トンまで経験あり、運転業務中心に求人を提供したが通勤困難な場所が多い。広域で運転業務の求人提供を継続、自転車や交通機関利用の必要性を感じ自転車を購入した。運転は主の業務としては未経験で不安要素でもあったため、未経験歓迎、年齢不問、高齢者歓迎の求人を提供。自宅に近い4トン運転業務の求人の魅力を感じ候補とした。どこかで折り合いをつけなければという気持ちは持っていたが踏み切れずにいた。履歴書や面接のアドバイスを行い準備を整えながら応募へ気持ちが向くのを待った。支援期間終了間際となり、求人公開期限も迫ったことで焦りが強くなり応募へ踏み切った。

③ 結果

- ・紹介就職 正社員 4トン短距離ルートドライバー

④ 職業相談員の所感

- ・怪我で離職、同職には復帰できないことと、2年以上のブランクで再就職への気持ちが落ちていた。未経験職への不安も口にしていました。今までは知人紹介で就職し、段取りのある面接の経験がほとんどないことも応募へ踏み切れない理由であった。礼儀正しく話し方は穏やかである。面接に向けては、いつも通りそのまま良い、緊張していることを素直に伝えて話せば良いと送り出した。役員による二次面接へ進むことができたが、「二次面接とはどういうことなのか？」と連絡があった。二次面接の意図や注意点、想定問答を行い、自信を持って挑めばよいと激励。選考結果通知の採用理由には「人柄」と書かれていた。本人の頑張りと良さが伝えられた面接であったのだろう。

⑤ 本人のコメント

- ・二次役員面接と言われたときは不安だったが、採用になり安心した。生活保護脱却ができそうだ。未経験の仕事だが頑張りたい。